

# No.86 ロボット支援下根治的前立腺全摘術を受けられる方へ

ID @PATIENTID  
氏名 @PATIENTNAME

経過 月日	入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目～	退院前日	退院日	
治療・処置	リストバンドを装着します。 普段飲んでおられるお薬があればお知らせ下さい。 入院中の内服薬について確認します。 確認のため、薬を飲んだ後の空袋は残して置いてください。 	手術は 頃です。 全身麻酔で行います。 手術時間は当日の状況により変更になる場合があります。 看護師が声をお掛けするまでお部屋にてお待ち下さい。 15時と21時に下剤を内服します。	手術中より点滴が開始となり、病棟に戻ってから継続となります。	手術後はICU入室または個室になります。状況によっては部屋を移動することもあります。 順調であれば自室に戻れます。	3日目の夕方まで点滴は終了します。	術後6日目に採血をします。	平日、8:30～9:00頃に医師の回診があります。静かにお部屋でお待ちください。 			
			酸素マスクを指示の時間までつけます。 背中から痛み止めの為の細い管が入ってくることがあります。 血栓予防の機械を足につけます。	医師の指示で腸管の働きを良くするための内服薬が開始されます。また持参薬の内服を再開する予定です。指示があったら内服のみしましょう。 朝、血栓予防の機械をはずします。	痛み止めの液がなくなったら背中の中を抜きます。					
検査・測定	身長・体重測定と検温をします。 輸血のための採血をします。 	検温をします。	脈拍・血圧を測る機械をつけ、継続的に測定します。 	朝、採血をします。 午前中に機械をはずします。その後は必要に応じて体温・血圧を測定します。 ベッドで胸とお腹のレントゲン写真を撮ります。	体温・血圧を測定します。			残尿測定をします。		
食事	昼から食事が出ます。食事の内容・形態・量などを変更することも出来ますのでご相談下さい。 15時から禁食となります。 医師から経口補水の許可がある方は翌日指示された時間まで飲水が出来ます。(別紙参照)	禁飲食です。水分もとれません。	医師の診察後から水分がとれます。(水かお茶) 昼から食事が始まります。食事は3分粥食から始まり、徐々に普通食になります。 							
清潔	シャワーに入ってください。			看護師がお手伝いをし、体を拭いたり着替えをします。	医師から許可がでたらシャワーに入れます。					
排泄			尿の管とお腹に管が入ります。		医師の指示でお腹の管・尿の管が抜けます。抜去する時からリハビリパンツをはいておきましょう。					
活動	特に制限はありません。病棟を長時間離れる際は看護師に声をお掛けください。		ベッド上安静です。用事のある際は看護師に声を掛けて下さい。	歩くことができます。始めは看護師が付き添い一緒に行います。	特に制限はありません。病棟を長時間離れる際は看護師に声をお掛けください。					
患者・家族の皆様への説明等	医師より手術についての説明があり、同意書をお渡しします。署名後、看護師にお渡し下さい。 看護師より、入院生活・病棟内の説明があります。(入院案内に同様の内容が記載されています。) 手術に必要な物品を揃えて下さい。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>準備するもの</li> <li>和式の寝衣</li> <li>テープ式紙オムツ 1枚</li> <li>リハビリパンツ 1袋</li> <li>必要時尿取りパット</li> </ul>	手術の前に排尿を済ませ病室でお待ちください。入れ歯、メガネ、指輪、かつら、ウィッグなどははずしておいて下さい。寝衣のまま歩いて手術室へ行きませ。用意した物は手術室に持っていきます。 痛みがある時、気分の悪い時等は看護師に声をお掛け下さい。	手術後、医師からの説明があります。(後日になる場合もあります。) 面会の制限はありません。手術中、ご家族の方は4階手術室の家族控室でお待ち下さい。家族控室を離れる場合は病棟の看護師までお知らせ下さい。	水分は多めに取ってください。1日1～1.5Lくらいが目安です。水分を多くとり尿を多く出すことが、排尿時痛・血尿の改善・感染予防に有効です。			尿管を抜いた後、尿がでなくなる、漏れることがあります。排尿状態の確認のため記録をしていただきます。また骨盤底筋体操を実施していただきます。	退院後の生活、退院手続き・次回外来の説明についての説明をいたします。	朝9時以降にスタッフステーションにお越し下さい。『入院のご案内』の中のアンケートにご協力下さい。

経過は個人差があります。ご不明な点は医師・看護師にお尋ね下さい。(上記内容は変更になる場合があります。)

※この用紙は入院時にご持参下さい。